

現代建築の中で小説の世界と明治に親しむ

坂の上の雲ミュージアム

小説『坂の上の雲』に登場する秋山好古・真之兄弟と正岡子規の生涯を中心に、小説に描かれた近代国家として成長していく明治の日本を、資料や映像などを用いて解説しています。毎年さまざまなテーマを深く掘り下げた企画展を開催し、その他各種イベントも行っています。建物は建築家・安藤忠雄氏の設計で、「第13回公共建築賞」優秀賞に選ばれました。



DATA

所在地／松山市一番町3-20 電話／089-915-2600 開館時間／9時～18時30分(入館は～18時)
休館日／月曜日(休日の場合は開館、臨時開館有り) 観覧料／一般400円(中学生以下無料)

大正浪漫を今に伝える、日本が誇るフランス風洋館

萬翠荘 (ばんすいそう)



大正11(1922)年、旧松山藩主の子孫にあたる久松定謨(ひさまつさだこと)伯爵が、別邸として建設した純フランス風の建物。当時は各界名士が集まる最高の社交場であり、皇族方がご来県の際は、必ず立ち寄られたところでもあります。地下1階、地上3階、愛媛県でも最も古い鉄筋コンクリート造りです。ネオルネッサンスと呼ばれる格調高い様式で、避雷針の先端に松山藩の大判・小判が使われるなど、各所に工夫が見られます。

DATA

所在地／松山市一番町3-3-7 電話／089-921-3711 開館時間／9時～18時(変更の場合あり)
休館日／月曜日(休日の場合は開館、変更の場合あり) 入館料／大人300円

全国屈指の優れた造りの楼門・国宝(建造物)

石手寺二王門(1棟)



石手寺(いしてじ)は真言宗豊山派の古刹で、四国八十八ヶ所第51番札所です。寺伝によれば聖武天皇の神亀5(728)年に勅宣によって大領・越智玉澄(おちのたまずみ)が伽藍を創建したということです。

『伊予古蹟志』には、この二王門は河野通継(こうのみちつぐ)が文保2(1318)年に建立したとの記事が見られます。

軒の反りや張りをはじめ、建物全体の均整はよく、全国の楼門の中でも屈指の優れた作品と評価されています。とりわけその臺股(かえるまた)は、鎌倉期の特徴を備えた傑作との名声を博しています。門の左右室に安置されている金剛力士立像は、運慶一門の作と伝えられています。

DATA

所在地/松山市石手2-9-21

文化財の区分/国宝(建造物)

指定年月日/昭和27年11月22日